



株式会社 紀陽銀行

個人投資家さま向け 会社説明会



Key Site



銀行をこえる銀行へ

紀陽銀行

COMMUNITY
COUNTER

東証プライム市場：8370

目次

Agenda

- 01 キーメッセージ
- 02 会社概要
- 03 株式情報／株主還元
- 04 業績指標
- 05 紀陽銀行の強み／成長戦略

目次

Agenda

- 01 キーメッセージ
- 02 会社概要
- 03 株式情報／株主還元
- 04 業績指標
- 05 紀陽銀行の強み／成長戦略

地方銀行トップクラスの ROE水準

2026年3月期 ROE<連結> **9.04%**

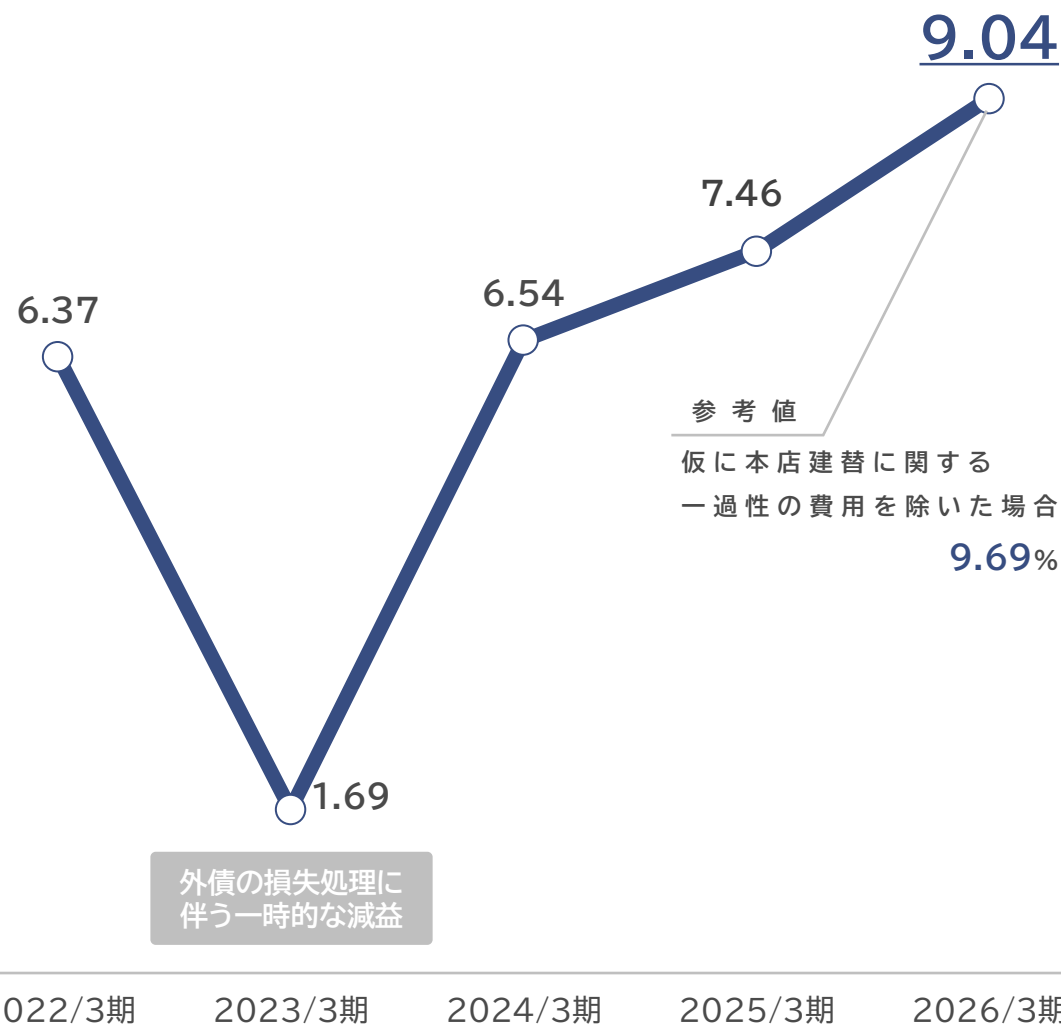
全国の地方銀行との比較

5 位 / 53行・グループ*

* 公表資料より当行調査

ROE<連結>

(%)



株主還元強化

株主還元方針

配当性向40%を目安とし、

利益の成長とともに

累進的な配当を行い、

自己株式取得は機動的に実施

株式分割の実施

(1株につき3株に分割)

基準日:2026年9月30日

株主優待制度の

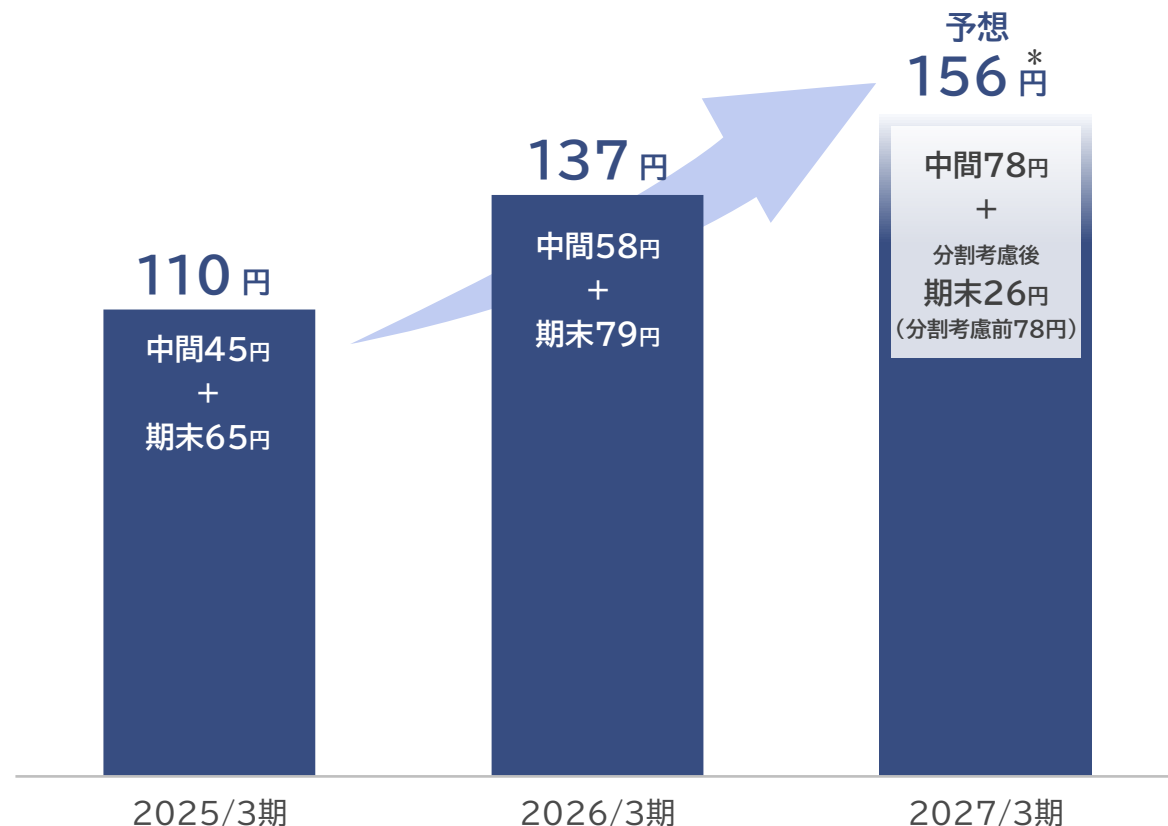
導入

初回基準日:2026年9月30日

4

1株当たり配当金

* 株式分割を考慮しない場合



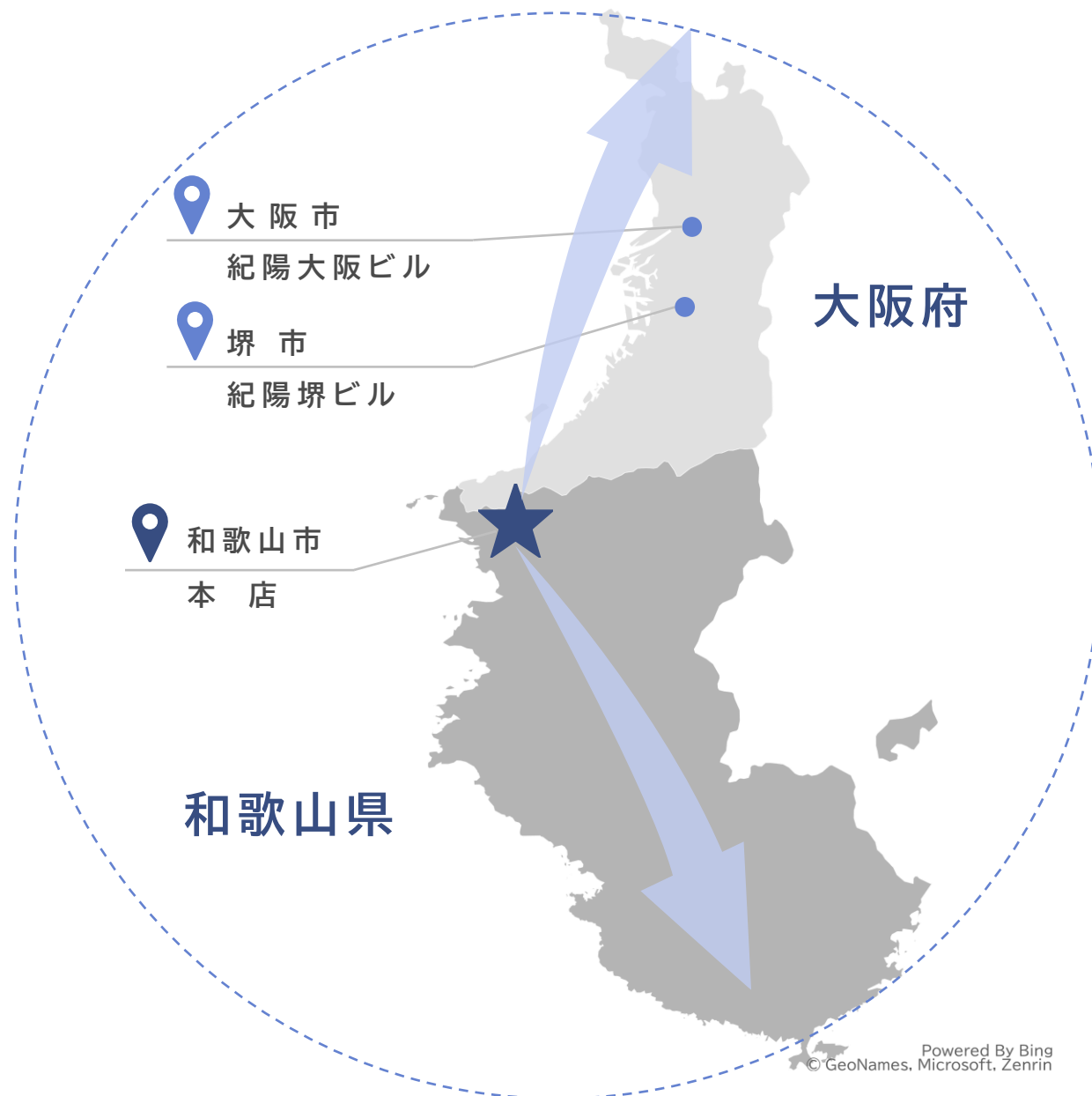
安定性と成長性を 兼ね備えた経営基盤

和歌山県

- ・ 県内唯一の地方銀行として圧倒的なシェアを背景に安定した預金の調達基盤を確立

大阪府

- ・ 当行貸出金の50%以上を大阪エリアが占める
- ・ マーケットポテンシャルは高く
更なるシェアアップの余地は大きい



目次

Agenda

- 01 キーメッセージ
- 02 会社概要
- 03 株式情報／株主還元
- 04 業績指標
- 05 紀陽銀行の強み／成長戦略



商号	株式会社紀陽銀行		
所在地	和歌山県 和歌山市		
創立	1895年（2025年 創立130周年）		
従業員数	2,125人		
店舗数	114店舗		
事業規模	預金等残高	4兆9,680億円	
	貸出金残高	4兆3,710億円	
グループ会社	8社		
外部格付	JCR(日本格付研究所)	A+	
	R&I(格付投資情報センター)	A	

沿革からみる 2つの特徴



大阪府下でも
75年以上の歴史



DX分野に強み
を持つ金融グループ

1895年 株式会社紀陽貯蓄銀行 設立

1950年 大阪府下 第1号店舗 開設 **Point**

1985年 紀陽ソフトウェアサービス株式会社(現:紀陽情報システム) 設立 **Point**

2006年 和歌山銀行と経営統合
和歌山県に本店を置く 唯一の地方銀行 に

2021年 紀陽情報システム が「銀行業高度化等会社」認可取得

2022年 勘定系システムを パブリッククラウド へ移行

2025年 創立 130 周年



－ 2030年 長期ビジョン －

お客さまとの価値共創と企業変革への挑戦を続け、

人が未来を創造する地域金融グループとなる

本店所在地である和歌山市を起点に、和歌山・大阪の両エリアを地元エリアと位置づけ



大阪府

店舗数	42 店舗
営業拠点数 (実店舗数)	37 拠点
事業性取引拠点数	22 拠点

和歌山県

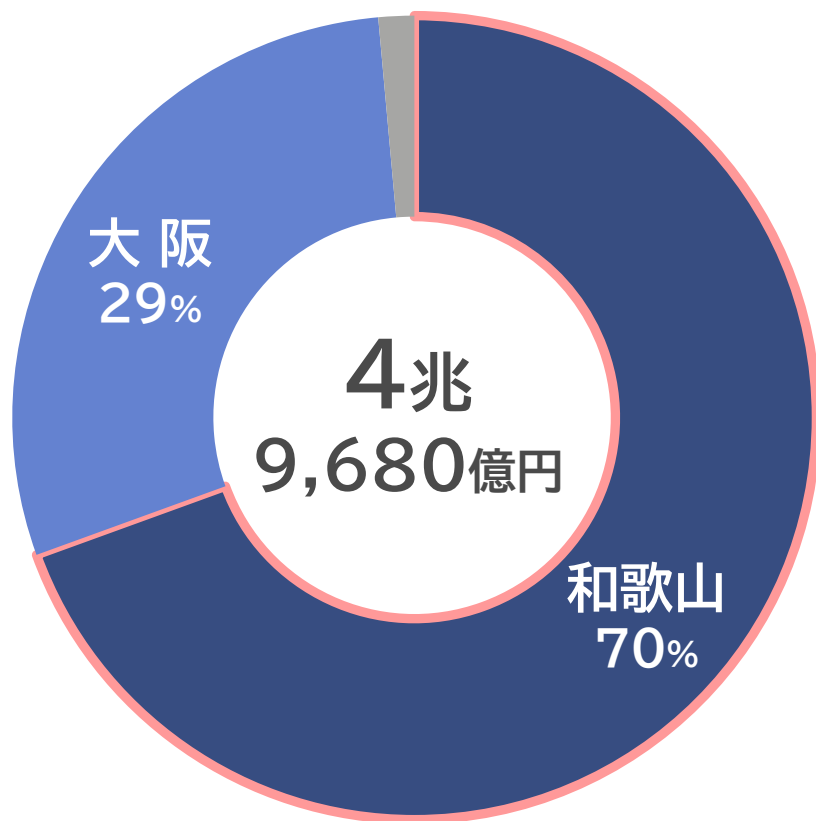
店舗数	69 店舗
営業拠点数 (実店舗数)	39 拠点
事業性取引拠点数	11 拠点

その他エリア

奈良県	2 店舗
東京都	1 店舗

和歌山エリアでの安定的な預金基盤を背景に、成長余地の大きい大阪エリアで貸出を拡大

預金等残高

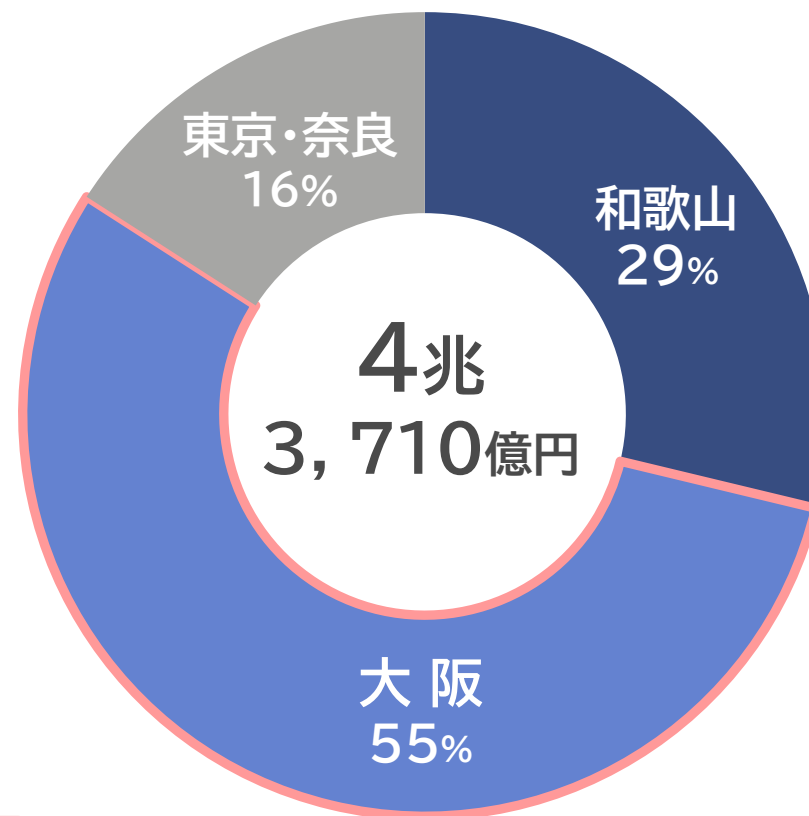


Point

和歌山県内での安定した預金基盤

貸出金残高

* 2026年3月末時点

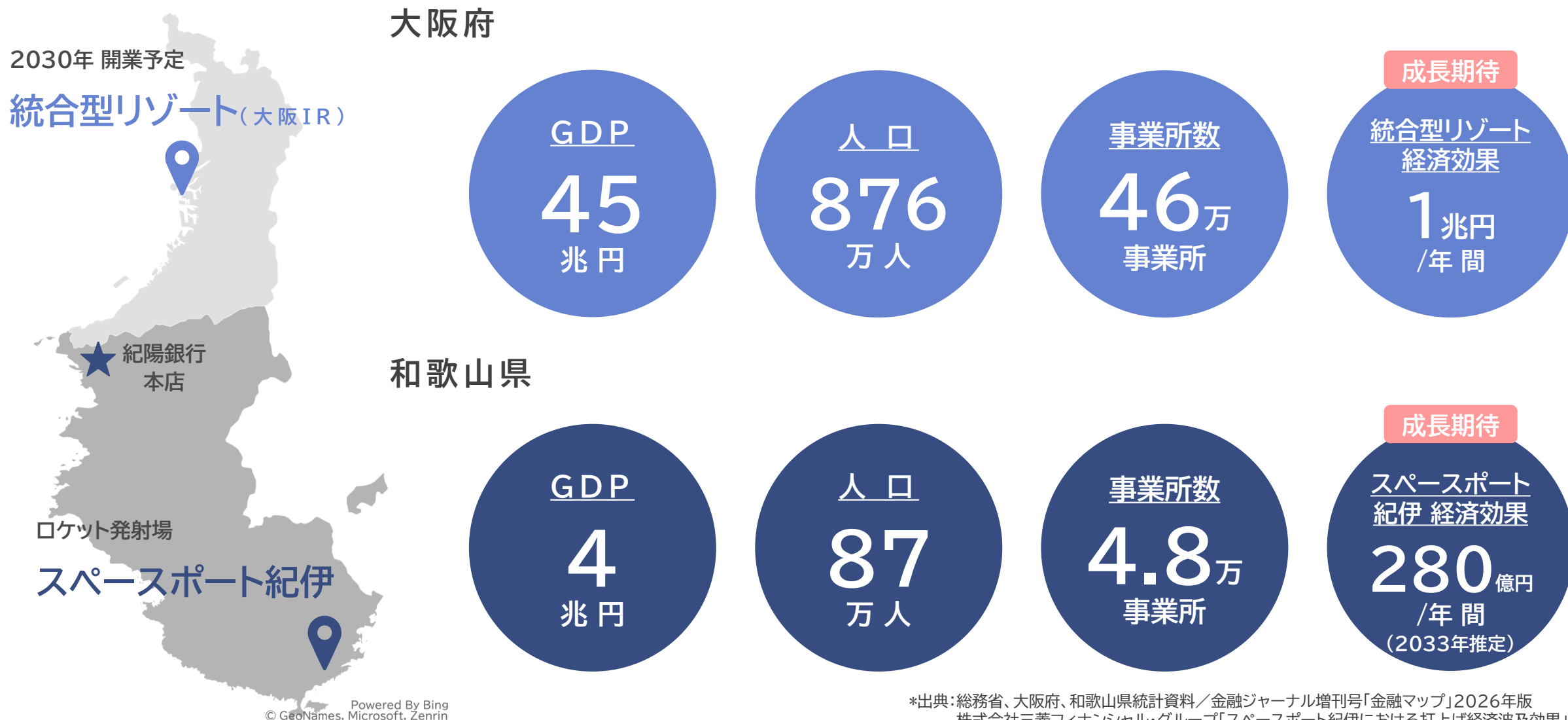


Point

大阪府内が50%超を占める

ホームマーケットの特性

「大阪IR」や「スペースポート紀伊」など地域経済の更なる成長への期待が高まるエリア



目次

Agenda

- 01 キーメッセージ
- 02 会社概要
- 03 株式情報／株主還元**
- 04 業績指標
- 05 紀陽銀行の強み／成長戦略

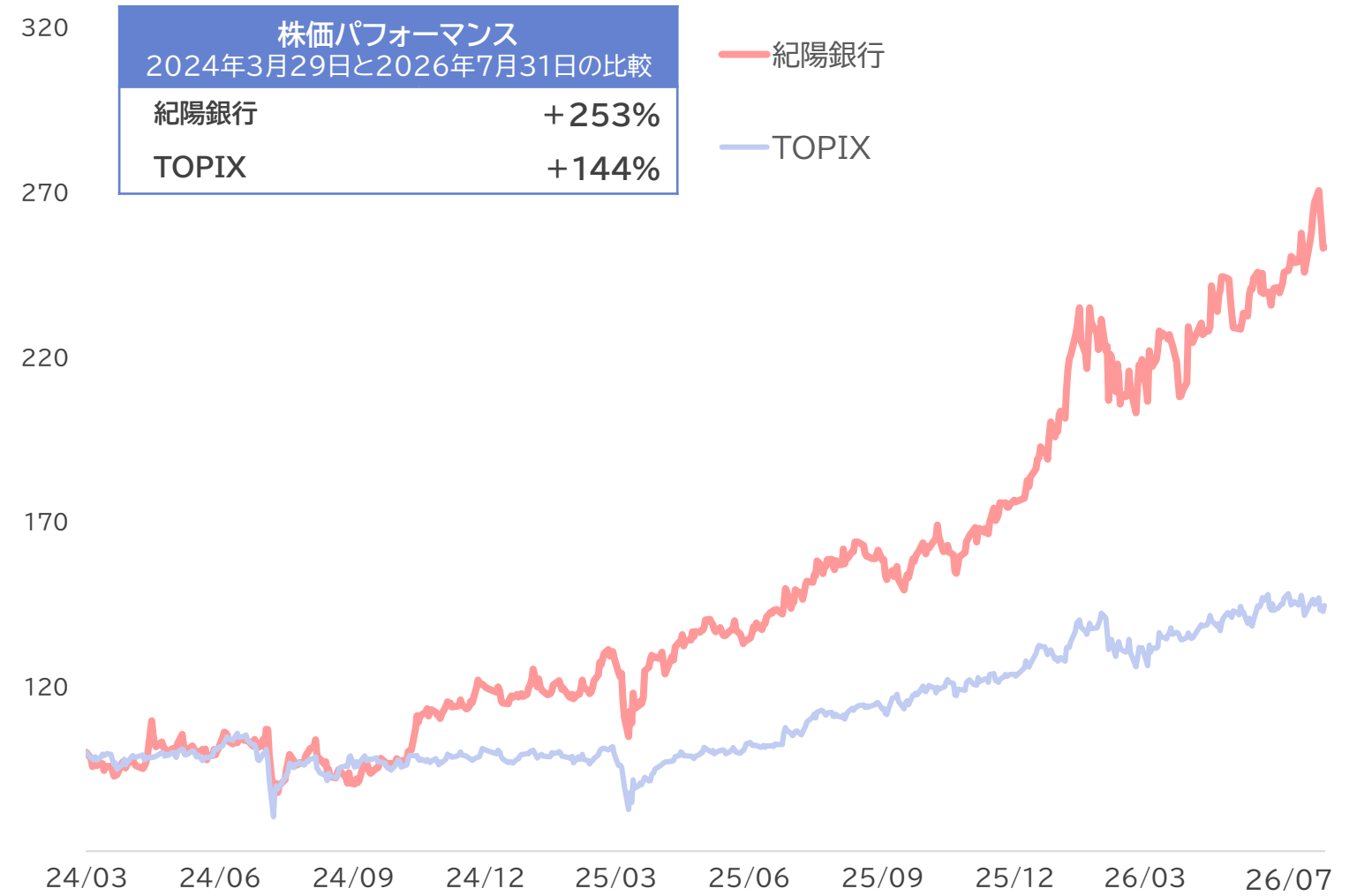
好調な本業利益の増加に伴い株価は堅調に推移し、TOPIXを上回る実績

株式情報

株価推移_2024年3月末を100の指数とした場合

上場取引所	東証プライム市場
証券コード	8370
単元株式数	100株
株 価	4,690円
時 価 総 額	3,156億円
予 想 配 当 利 回 率	3.32%

* 2026年7月31日時点



株主還元方針

配当性向40%を目安とし、

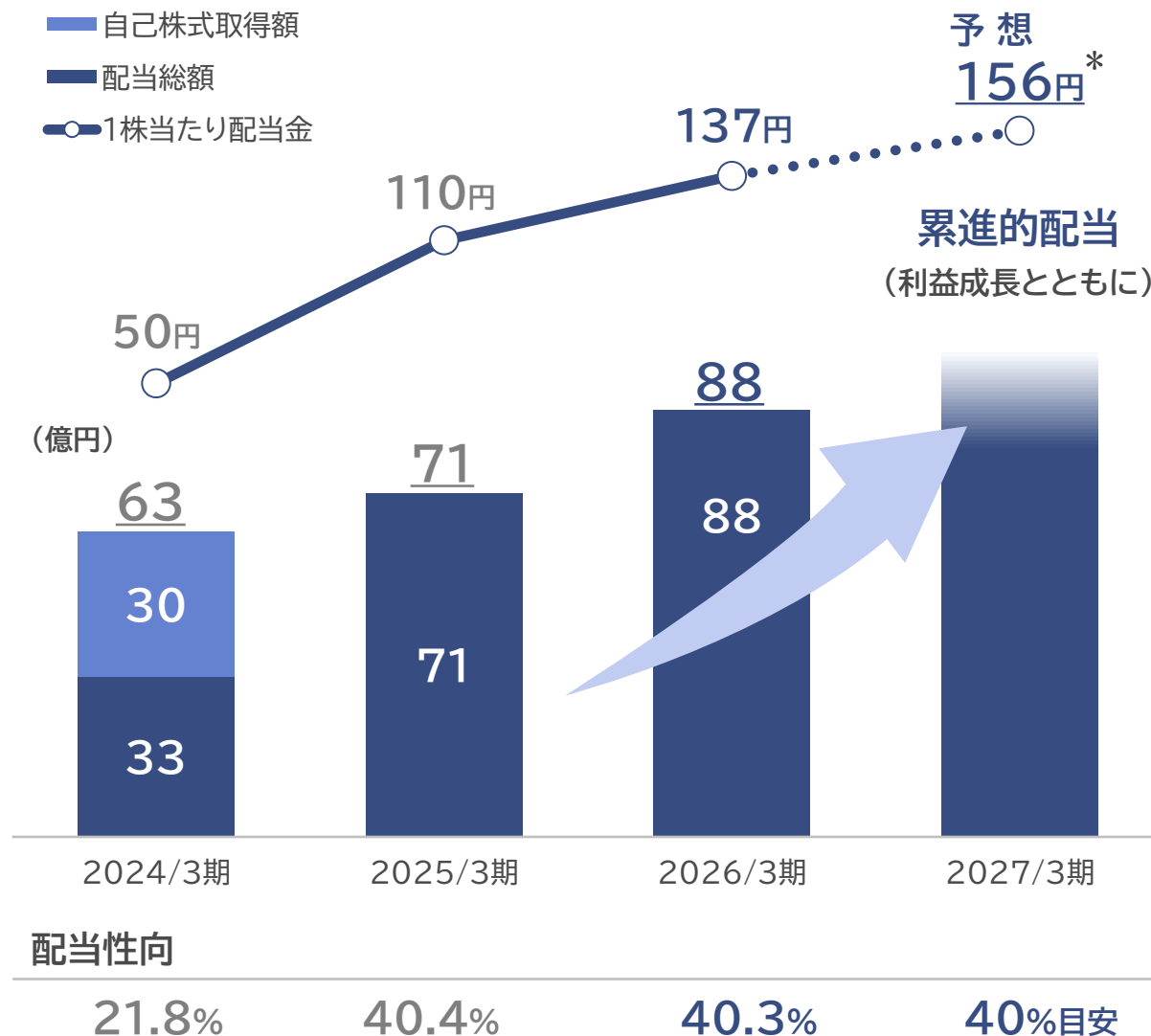
利益の成長とともに

累進的な配当を行い、

自己株式取得は機動的に実施

株主還元

* 株式分割を考慮しない場合



株式分割の実施

基準日 : 2026年9月30日

効力発生日 : 2026年10月1日

1株につき3株の割合

で株式分割を実施



最低投資金額を引き下げ
投資家の皆さまがより投資しやすい環境を整備

株主優待制度の導入

初回基準日 : 2026年9月30日

上記以降 : 毎年3月31日

最低保有期間: 1年間

※初回基準日に限り、最低保有期間の定めなし

和歌山県産品等のカタログギフト

を優待品としてお届け

優待条件(分割考慮後)	優待内容
1,000株以上3,000株未満	3,000円相当のカタログギフト
3,000株以上	5,000円相当のカタログギフト

目次

Agenda

- 01 キーメッセージ
- 02 会社概要
- 03 株式情報／株主還元
- 04 業績指標**
- 05 紀陽銀行の強み／成長戦略

2026年3月期

各種利益項目で

過去最高益

を更新

Memo

業務粗利益 とは

一般事業法人の **売上総利益** に相当

コア業務純益 とは

一般事業法人の **営業利益** に相当

	単 体 (単位:億円)	2025/3期	2026/3期	前期比	業績 予想比
1	業務粗利益	501	626	+125	+17
2	コア業務純益 過去最高 (除く投資信託解約損益)	253	321	+68	+59
3	当期純利益 過去最高	158	206	+48	+38
4	顧客向けサービス 業務利益 過去最高	169	228	+59	+26

	連 結 (単位:億円)	2025/3期	2026/3期	前期比	業績 予想比
5	経常利益 過去最高	233	323	+90	+31
6	親会社株主に帰属する 当期純利益 過去最高	176	218	+42	+33

2027年3月期 業績予想

連結当期純利益

250 億円

Point

2027年3月期業績予想の
政策金利の前提は0.75%で策定
2026年6月に行われた1.0%への
引き上げは業績予想には織り込まず

過去最高
見込み

コア業務純益

(除く投資信託解約損益)

329 億円

(前期比 + 8 億円)

過去最高
見込み

当期純利益

(連結)

250 億円

(前期比 + 32 億円)

過去最高
見込み

顧客向けサービス

業務利益

250 億円

(前期比 + 22 億円)

過去最高
見込み

1株当たり配当金

(予想)

156^{*} 円

(前期比 + 19 円)

* 株式分割を考慮しない場合

政策金利 + 0.25%
の引上げに対して

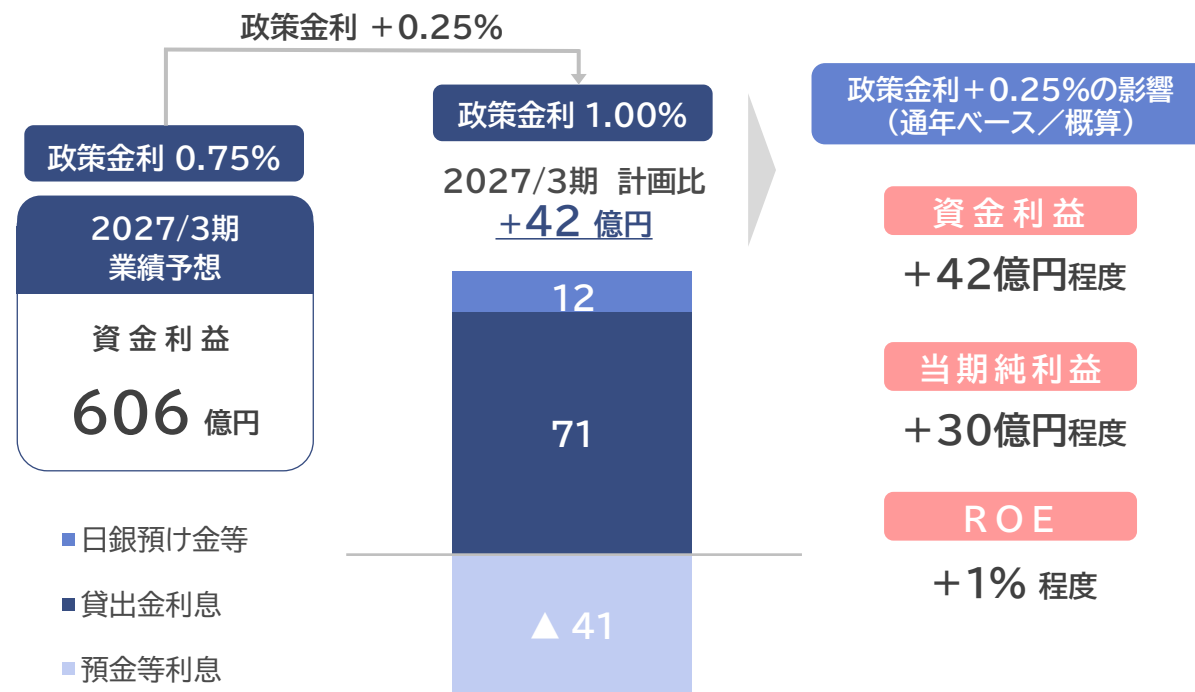


通年ベースの寄与による試算

ROE + 1% 程度

当期純利益 + 30億円 程度
の効果

当期純利益（連結）への影響試算



試算条件

残 高	第7次中期経営計画の増加計画ベース
貸出金利息	短期プライムレート連動：追随率100%（新規実行90%） 住宅ローン、市場金利連動：追随率100%
預け金等	日銀当座預け金：追随率100%
預金利息	流動性預金：追随率40% 固定性預金：追随率50%（キャンペーン預金コストを含む場合、90%程度）

中計最終年度目標の
ROE8.0%を前倒しで達成

中長期的目標である

10%以上

の早期達成をめざす

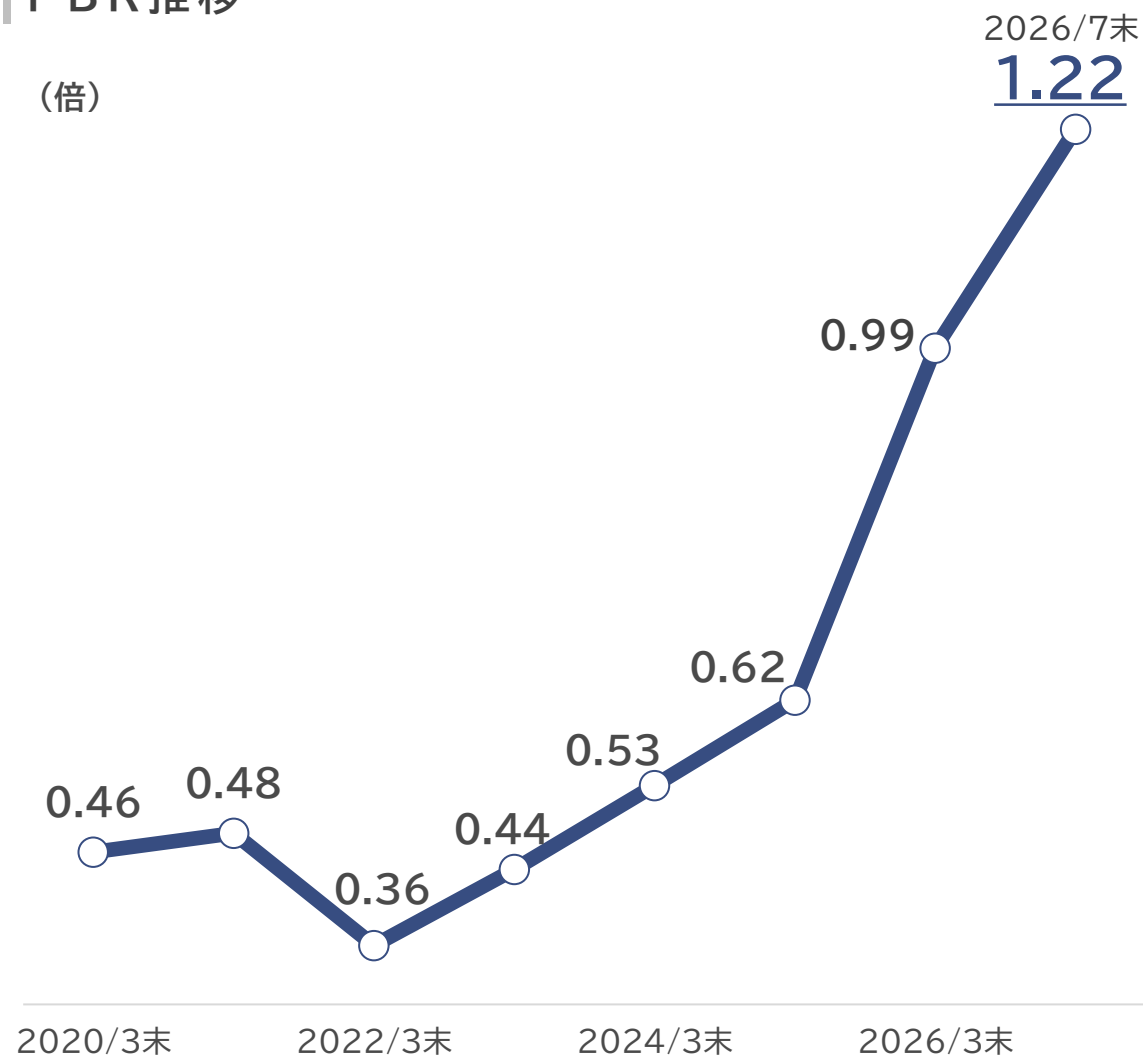


地方銀行との比較

PBRは1倍超の水準を維持、配当性向・配当利回りともに業界平均を上回る水準

PBR推移

(倍)



地方銀行との比較

	紀陽銀行	地方銀行平均
PBR 2026年7月31日時点	1.22 倍	0.92 倍
ROE 2026年3月期実績	9.04 %	6.40 %
PER 2026年7月31日時点	12.08 倍	14.00 倍
配当性向 2026年3月期実績	40.3 %	33.3 %
配当利回り 2026年7月31日時点 (分割考慮前)	3.32 %	2.59 %

* 公表資料より当行調査

目次

Agenda

- 01 キーメッセージ
- 02 会社概要
- 03 株式情報／株主還元
- 04 業績指標
- 05 紀陽銀行の強み／成長戦略

紀陽銀行の“強み”

コア事業である
中小企業分野に
経営資源を集中投下



**競争優位性の
最大化**を目指す

経営戦略

メイン取引化戦略による

お客さまとの深度あるリレーションの構築

営業体制

本業支援に特化した **ソリューション戦略部** の設置

和歌山・大阪の **両エリアへの融資審査部門** の設置

グループ シナジー

戦略系グループ会社に**経営資源を優先配賦**

紀陽情報システムを中心とした **グループ機能の高度化**

知的資本 人的資本

長年の歴史で培われた中小企業分野における

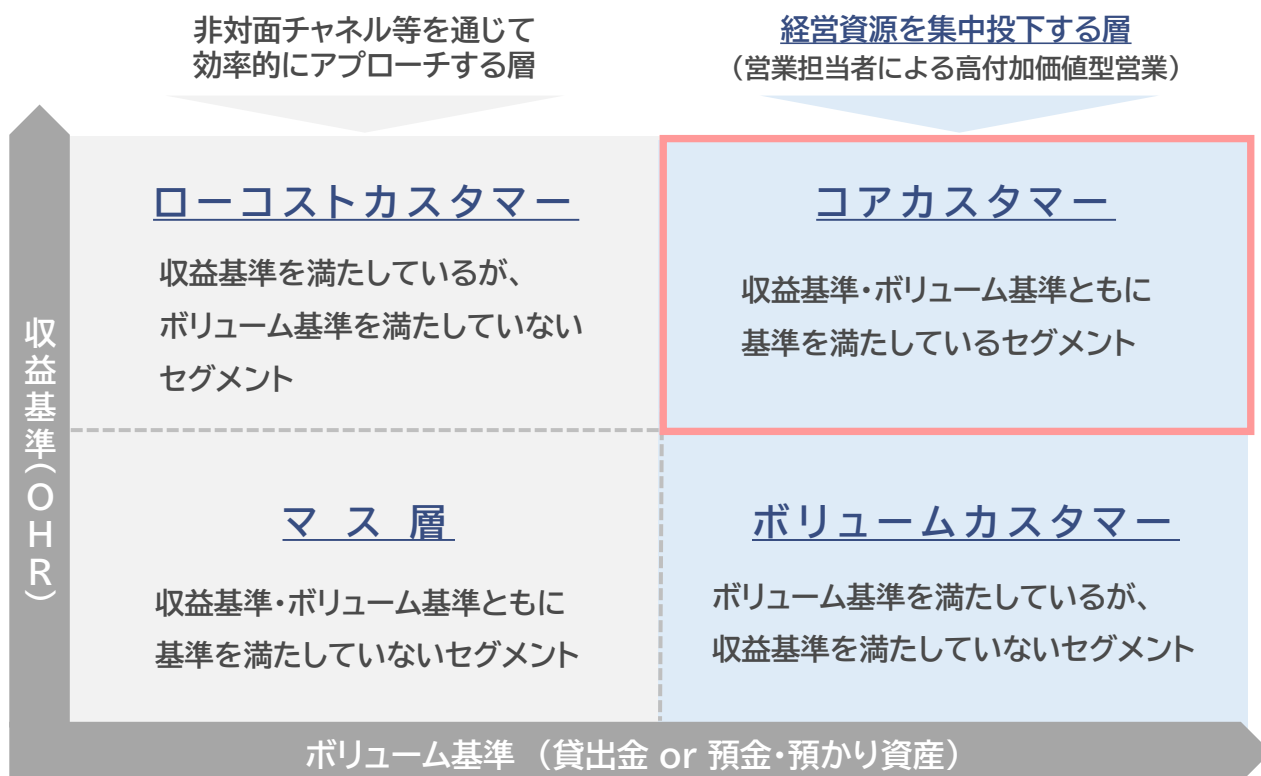
与信審査や本業支援を踏まえた提案力

セグメント毎にアプローチ方法を明確化し、経営リソースの戦略的配賦を実施

戦略概要

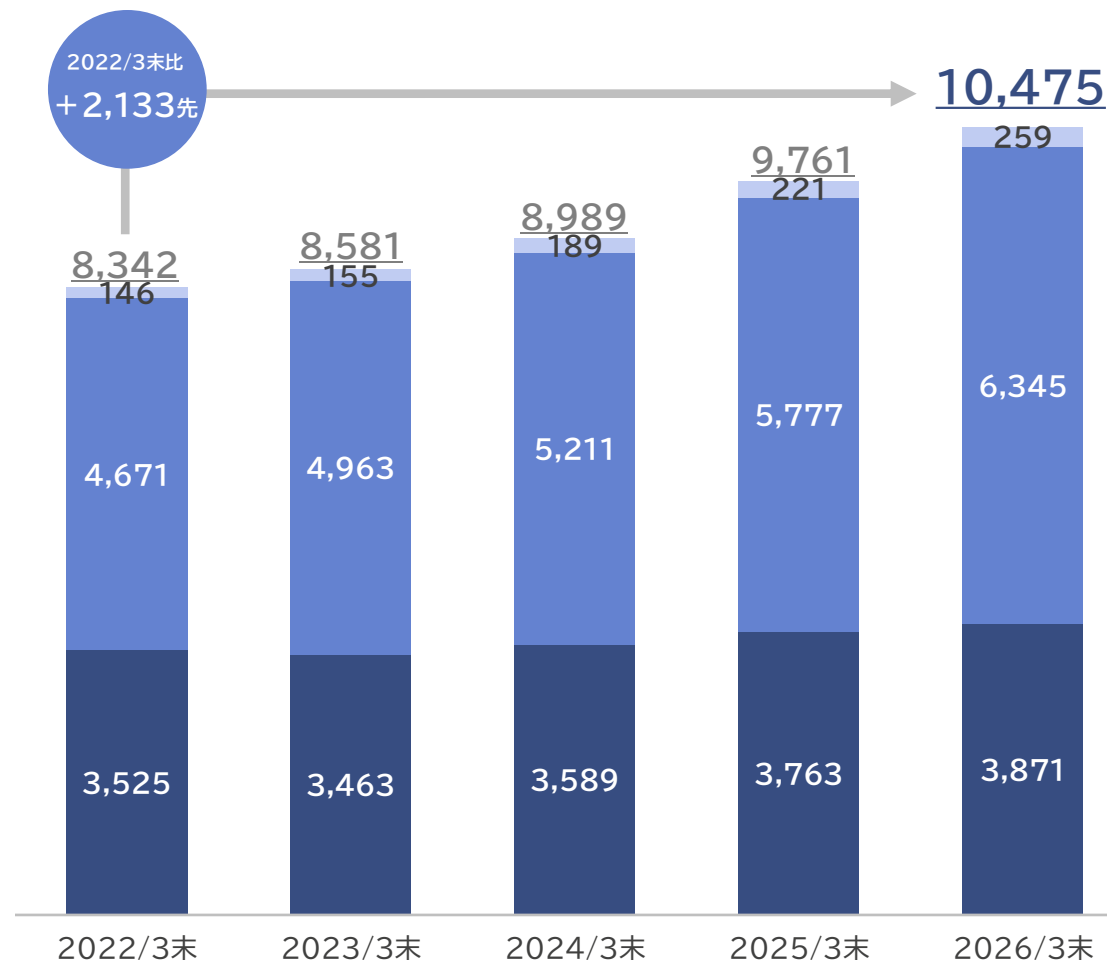
- 第5次中期経営計画(2018/4～)よりコアカスタマー戦略を導入。
- コアカスタマー層を中心に当行グループの経営資源を集中投下することで、お客さまとの価値共創と当行収益の最大化を目指す。

[セグメントイメージ]



コアカスタマー先数推移

(先) ■和歌山 ■大阪 ■その他



グループシナジー 紀陽情報システム

地銀のシステム子会社としては全国トップクラスの陣容、地域DXを推進

紀陽情報システム

事業内容

- ・自治体向け総合行政システムの開発・運用サポート
- ・金融機関向け各種システムの開発
- ・システム導入に関するコンサルティング・開発・運用

事業所

本社:和歌山市
東京支社:千代田区
大阪開発センター:大阪市

従業員数
2026/4時点

287名(別途、協力会社要員 144名)

設立

1985年(2025年 創立40周年)

主要株主

株式会社紀陽銀行 80%
BIPROGY株式会社 20%

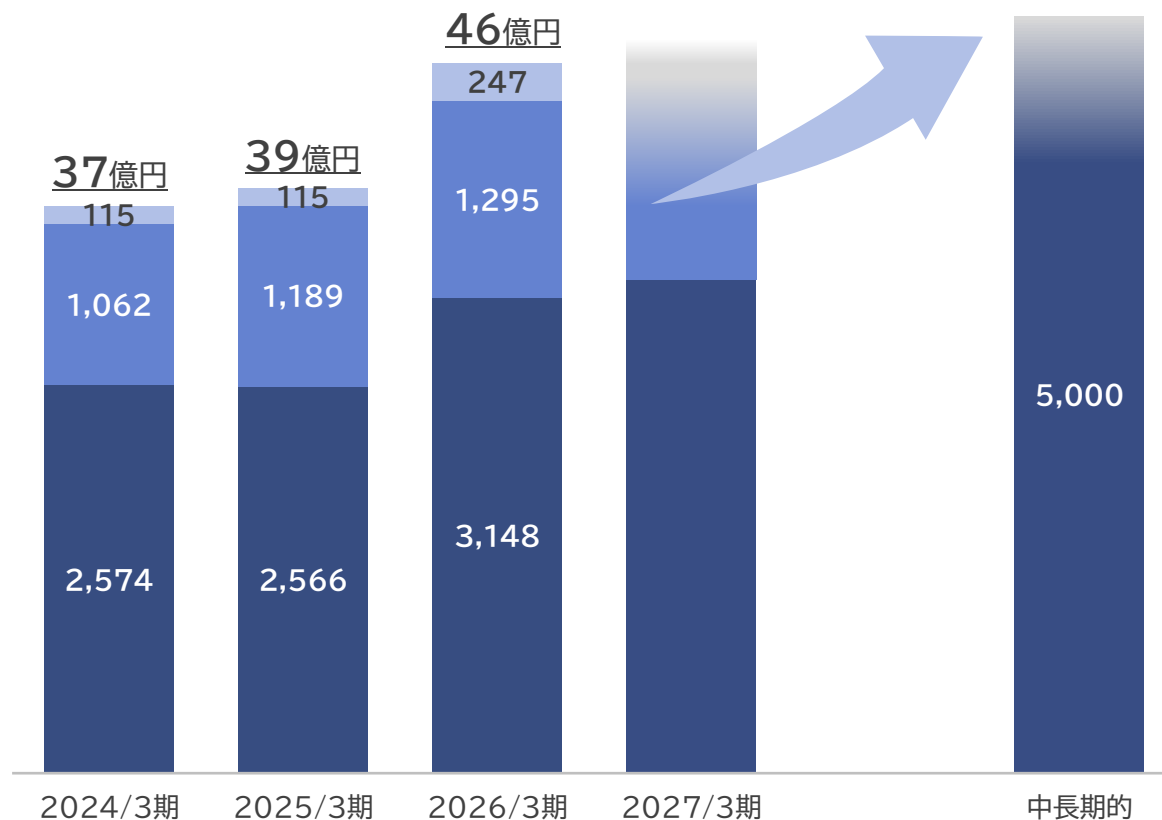
売上高

46億円(2026/3期)



〔売上実績・計画〕

■民間部門 ■金融部門 ■公共部門
(百万円)



2030年
ビジョン
50億円

本業収益の成長

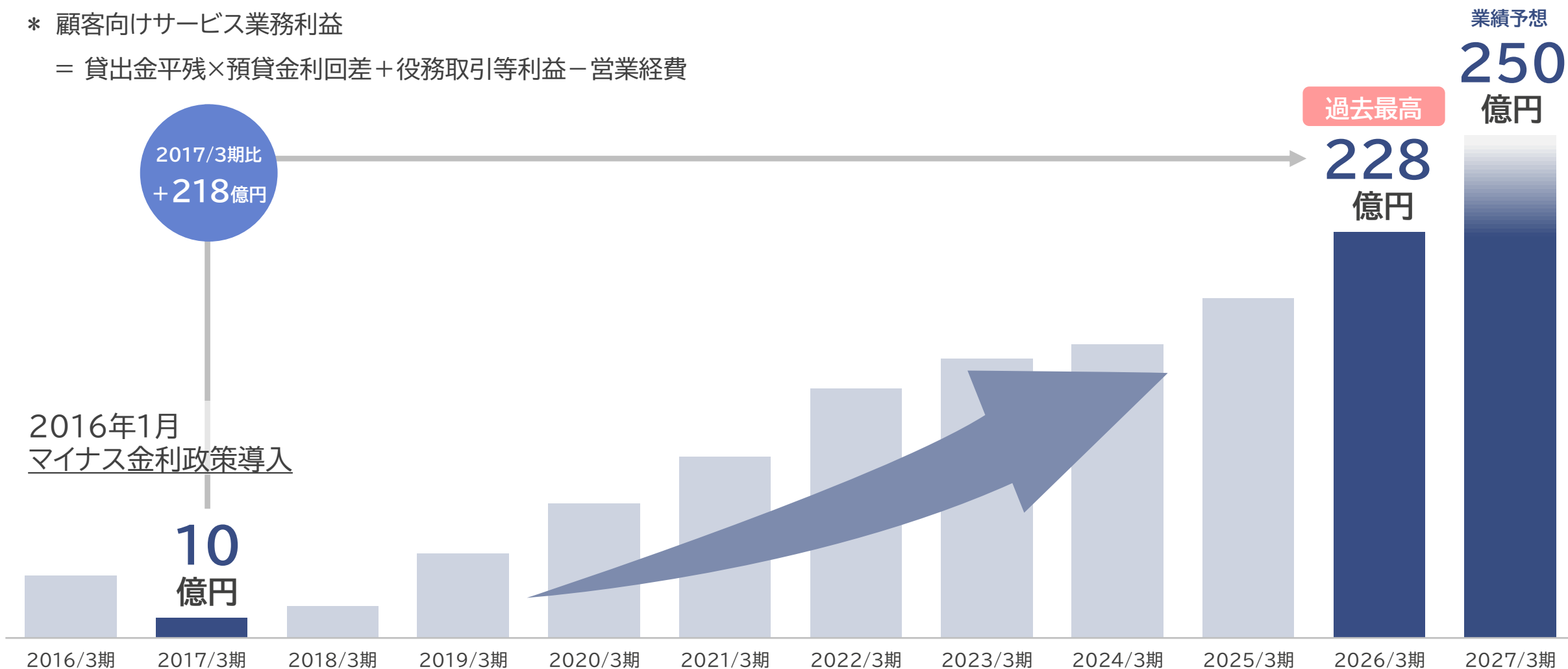
本業の収益力を示す“顧客向けサービス業務利益”はマイナス金利下においても大幅に増加

マイナス金利環境下

金利のある世界

* 顧客向けサービス業務利益

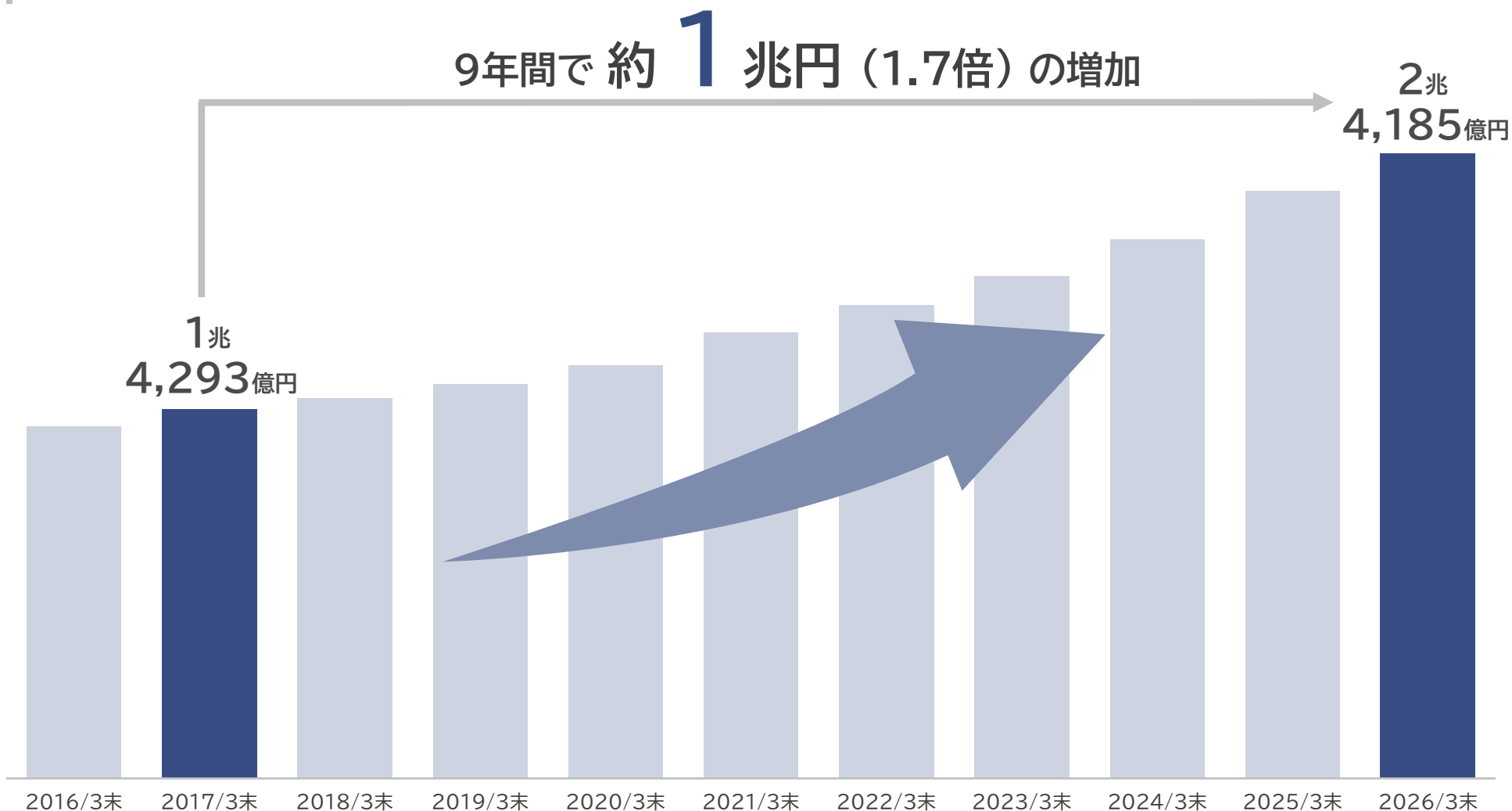
= 貸出金平残×預貸金利回差＋役務取引等利益－営業経費



大阪エリアでのトップライン増強

大阪エリアに経営リソースを積極的に投下し、貸出金残高は順調に増加

貸出金残高（大阪エリア）

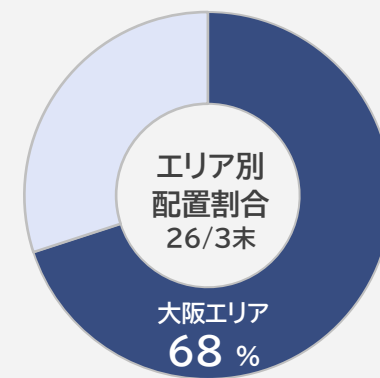
9年間で 約 **1兆円**（1.7倍）の増加大阪エリアへの
人的リソースの配置状況*

2017/3末：56 %

+12 pt

2026/3末：68 %

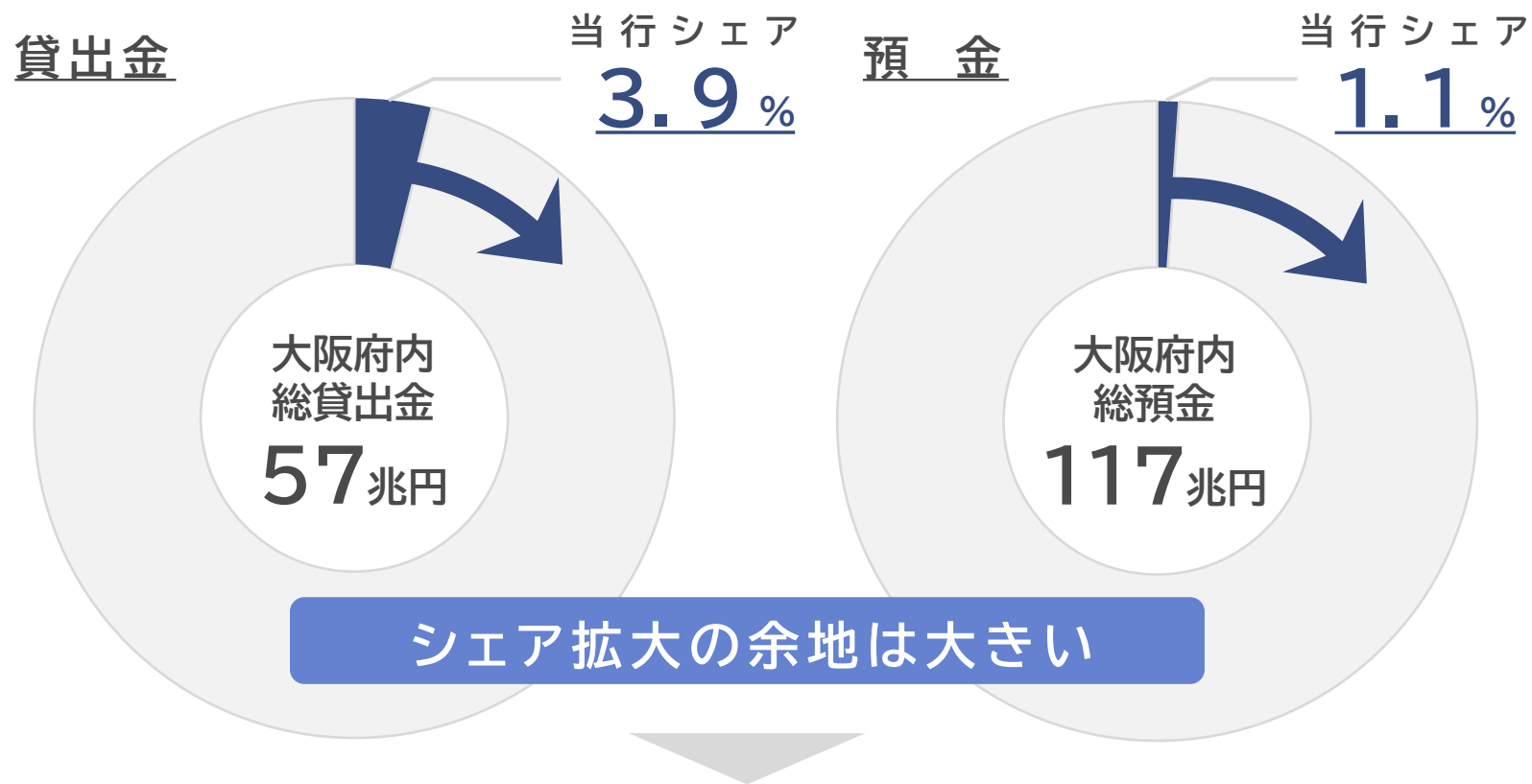
*事業性関連人員の配置割合



シェア拡大余地の大きい
大阪エリアで

トップラインの
増強をめざす

大阪府内の金融機関に占める当行シェア



経営リソースのさらなる投下に向け
生産性の向上に取り組む

生産性の向上_営業体制の見直し・BPR施策の実施

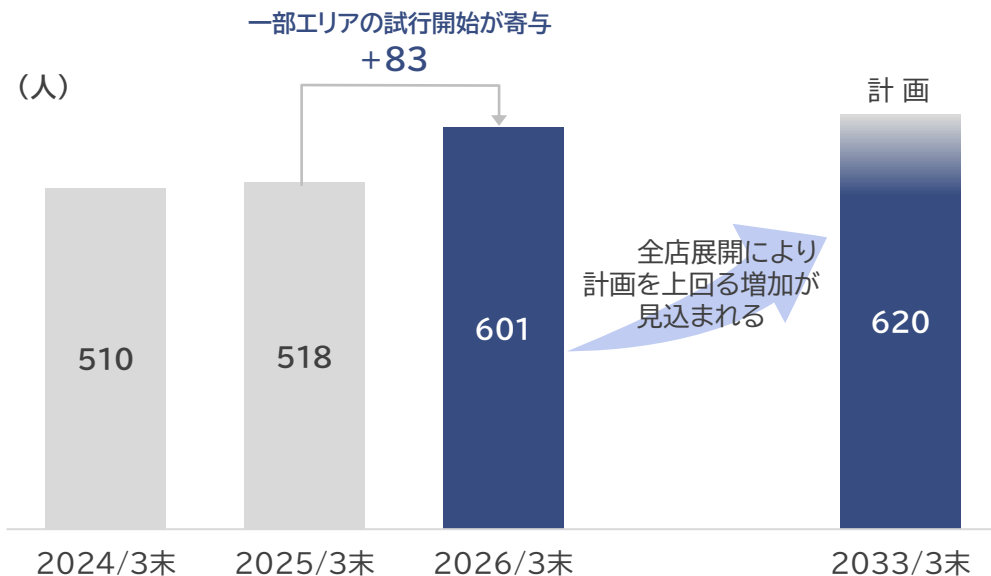
成長分野への経営リソースの確保に向け、生産性向上に向けた取り組みに注力

営業体制の見直し

- ・営業課・融資相談課での分業体制の見直しに向け、試行運用に着手。
2027年4月より開始される第8次中計に合わせて全店正式展開を目指す。

- | | |
|-----|---|
| 目 的 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業融資に強い人材の育成 ・ ソリューション営業人材の増加によるトップラインの増強 ・ 全員営業体制の構築 |
|-----|---|

〔ソリューション営業人材数の推移〕

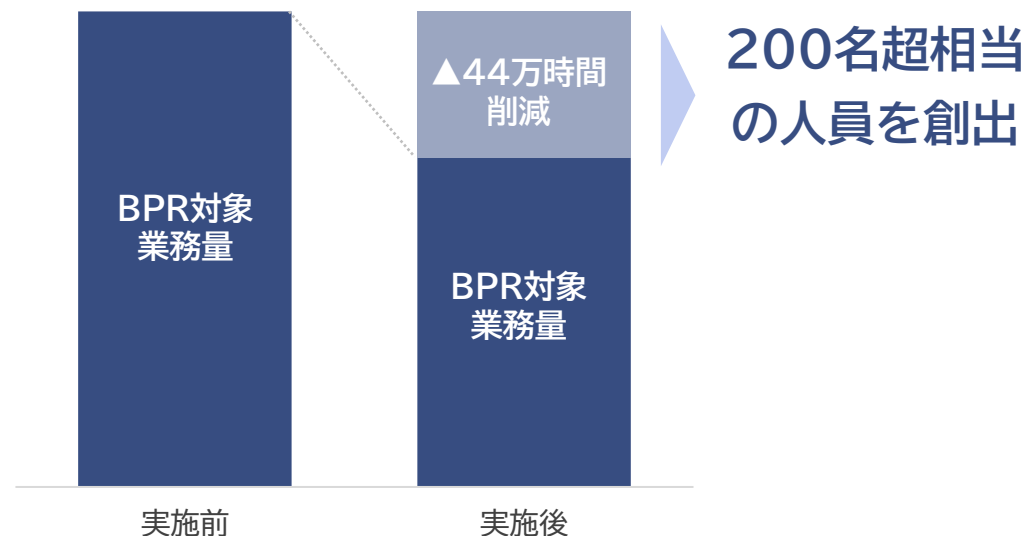


BPR施策の実施

- ・ 外部コンサルを導入した組織横断によるBPR施策に着手。
4つの対象業務を選定し、第8次中計での運用開始に向けプロジェクトを進行中。

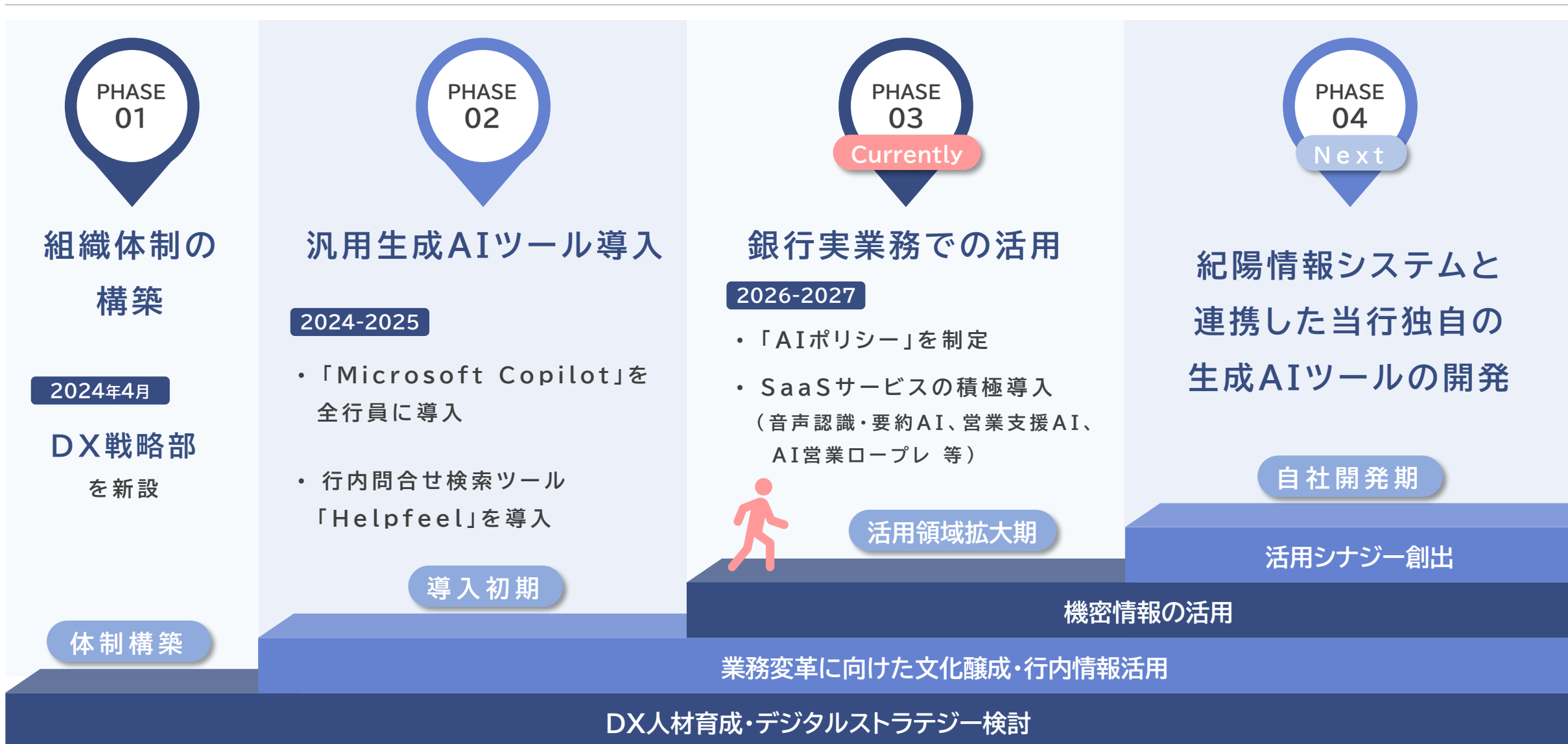
- | | | |
|------|---------|-----------|
| 対象業務 | ① 業務課事務 | ② 融資業務 |
| | ③ 個人ローン | ④ 投資信託・保険 |

〔対象業務の年間業務時間削減イメージ〕



生産性の向上 AI活用に向けた取り組み

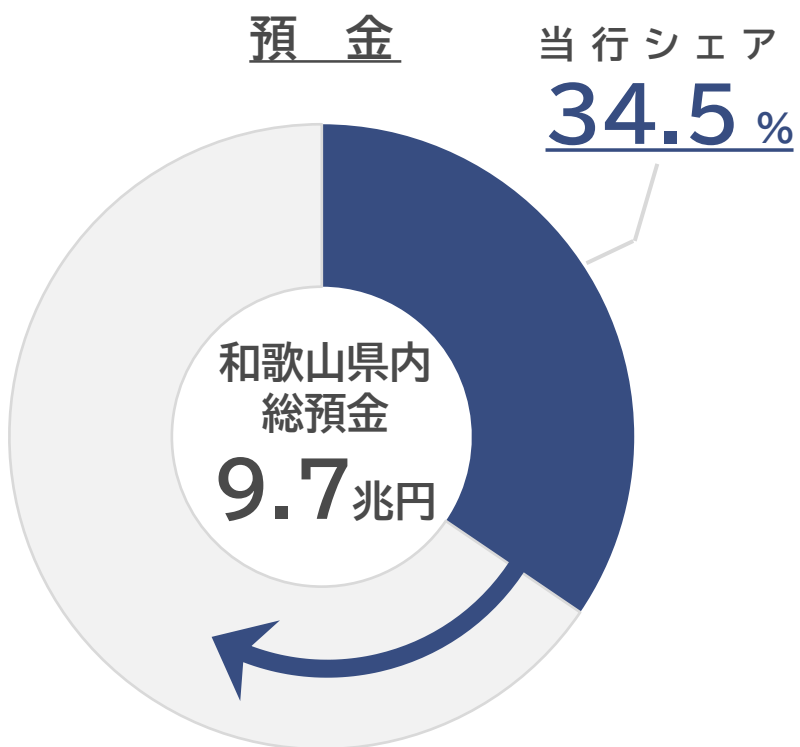
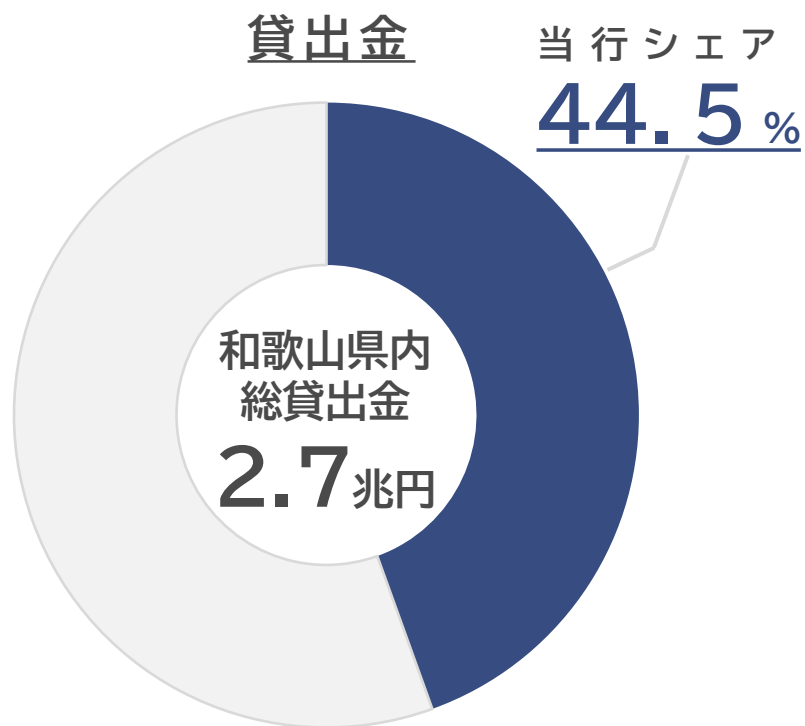
生産性の向上に向け、積極的なAI技術の活用を推進



和歌山エリアでの成長

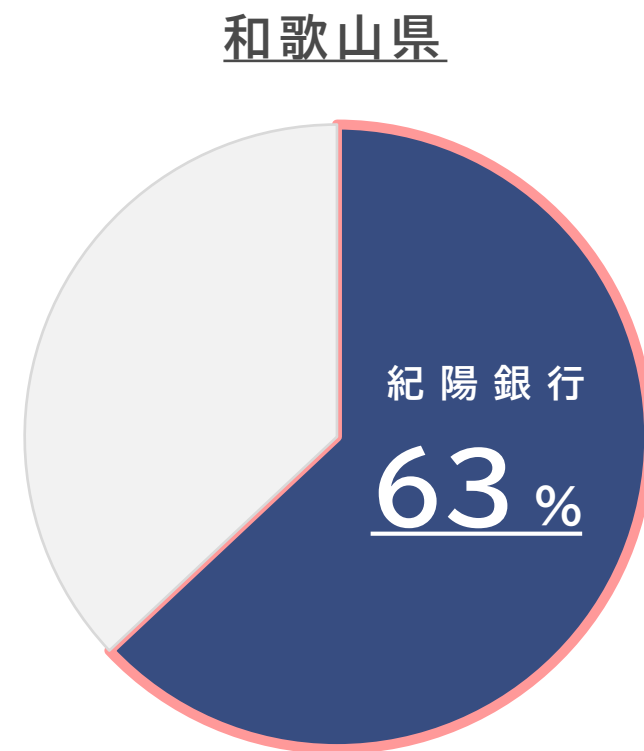
預金については更なるシェアアップが見込める水準であり、より深度ある営業活動に注力

和歌山県内の金融機関に占める当行シェア



預金シェアの拡大余地あり

メインバンクシェア



全国 **3** 位の水準

出典:金融ジャーナル 金融マップ2026年版
帝国データバンク「メインバンク」動向調査(2025)

施設利用者数は当初目標を大幅に超過し、スタートアップの創出に向け着実に前進



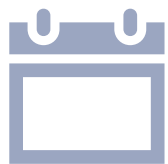
2025年3月、スタートアップ支援拠点「Key Site」を開設

施設
目標

10年間で **5** 社の**IPO**企業の輩出

開設後1年間の実績

イベント開催数



188 件

施設来場者数



8,715 人

(当初目標:年間1,000人)

コワーキング会員数



88 会員

ユーザー登録数*



4,612 人

*Instagram、LINE等



- 1階 カフェスペース
- 2階 イベントスペース、コワーキングスペース
- 3階 コワーキングスペース
- 4階 紀陽銀行グループオフィス
- 5階 レンタルオフィス

DIGEST

本日お伝えしたかったこと

DIGEST

01

収益力



- ・ 地方銀行トップ水準のROE
- ・ ROE目標8%を前倒し達成

中長期的目標

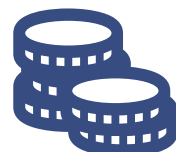
ROE **10**% 以上

の早期達成をめざす

DIGEST

02

株主還元



- ・ 株主優待、株式分割を決定
- ・ 配当性向・配当利回りとも
地方銀行平均を上回る水準

配当性向 **40**%目安

DIGEST

03

成長性



- ・ 和歌山県内での圧倒的シェア
- ・ 大阪府下でのさらなる成長余地

本業利益(顧客向けサービス業務利益)

10年間で **25** 倍

2017/3期:10億円→2027/3期(業績予想):250億円

ご参考

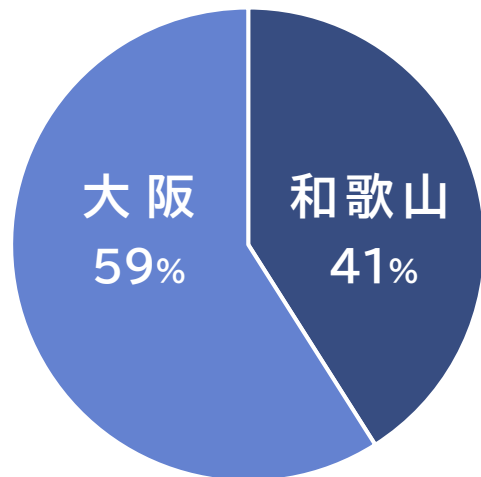
Q&A 参考資料

大阪エリアでの経営基盤

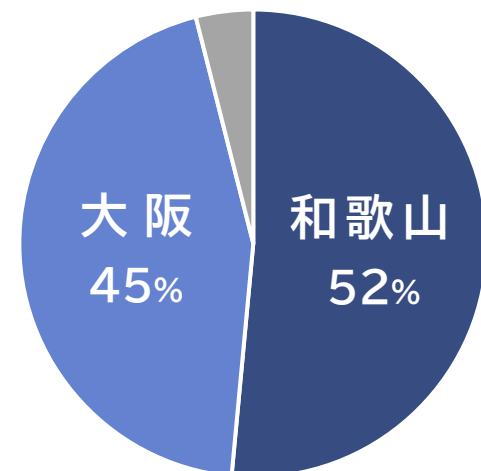
人的基盤や本部体制からも大阪エリアは既に“地元”であり、地域に根差したネットワークを構築

人的基盤

役員出身地



従業員居住地



本部体制

本業支援による価値共創

ソリューション戦略部	79名
紀陽堺ビル	63名
Key Site(和歌山市)	16名

スピーディーな審査体制

融資部	90名
本店(和歌山市)	71名
紀陽大阪ビル	19名



本業支援を支える戦略系グループ会社

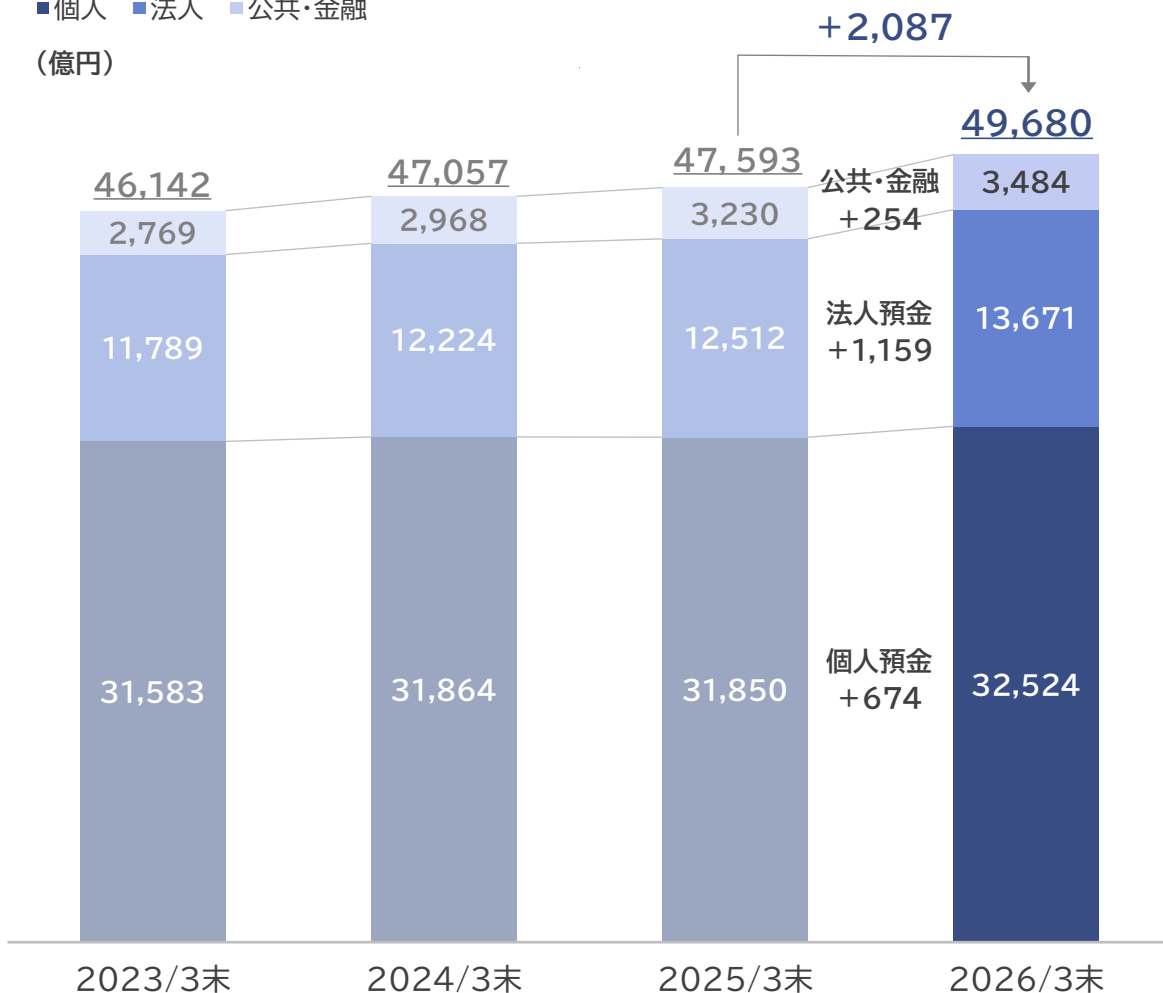
紀陽情報システム	287名	紀陽リース	26名	紀陽キャピタルマネジメント	15名
本社(和歌山市)	241名	本社(和歌山市)	17名	本社(和歌山市)	5名
紀陽研修センタービル(和歌山市)	22名	紀陽堺ビル	7名	Key Site(和歌山市)	1名
紀陽大阪ビル	8名	紀南エリア(田辺・新宮)	2名	紀陽堺ビル	9名
紀陽東京ビル	16名				

個人・法人ともに順調に増加、地域資源を活用した当行独自の預金商品の開発にも注力

預金等残高推移

■個人 ■法人 ■公共・金融

(億円)



取組内容

セグメント

活動状況



個人

(粘着性の高い預金の獲得)

- ・ 高いメインバンクシェアを背景に、職域活動に注力
- ・ 非対面チャネルの機能強化に向けバンキングアプリの更改を予定

(戦略的な預金の獲得)

- ・ 金利以外の付加価値を付与した預金商品の開発
⇒ [スペースワンとコラボした「カイロス応援定期預金」をリリース](#)
- ・ 各種キャンペーン預金の実施



法人

(粘着性の高い預金の獲得)

- ・ 融資シェアに見合う預金シェアへの獲得交渉

(戦略的な預金の獲得)

- ・ 金利以外の付加価値を付与した預金商品の開発
⇒ [全国初、見舞金付定期預金「BCP預金」をリリース](#)

カイロス応援定期

実績

取扱
期間

2025年11月25日～
2026年3月31日

預入総額 **723** 億円

最終預入額の0.01%が寄付金へ

寄 付

最終預入総額の0.01%
相当額をスペースポート紀伊
周辺地域協議会へ寄付

寄付総額 **723** 万円

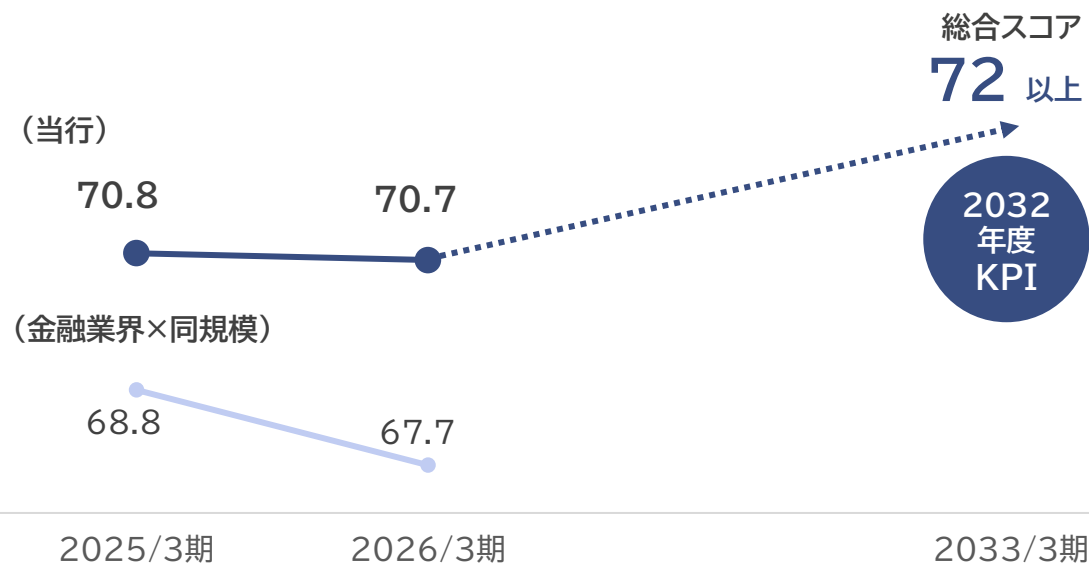


人的資本の最大化に向け、積極的な人的資本投資に取り組む

人的資本投資

- ・ ベースアップを **4年連続** で実施
- ・ 目指す人材ポートフォリオの構築に向けた**安定した新卒採用**の実施
- ・ 研修制度の拡充等、従業員の教育支援への投資を拡大
(2027/3期計画：前期比 **+1.5** 倍)

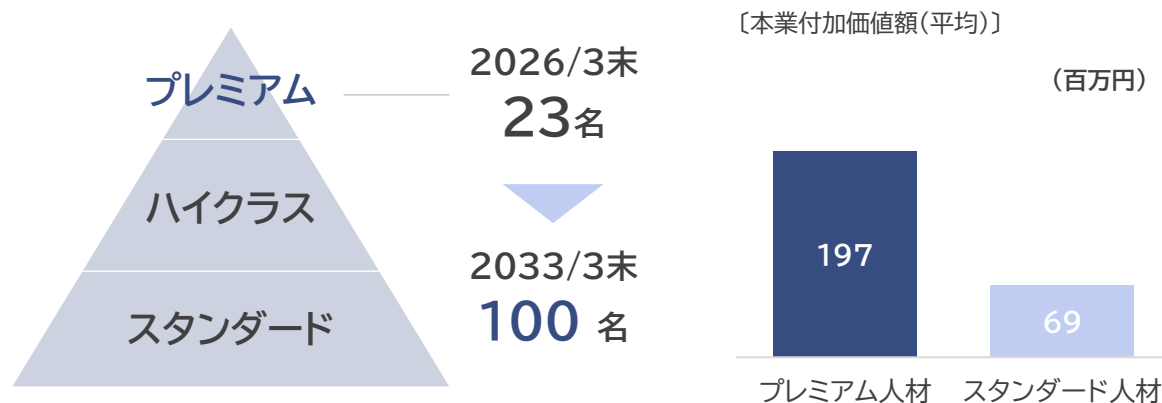
従業員エンゲージメントスコア



新卒採用実績 (単位:人)	2024 年度	2025 年度	2026 年度	ベースアップ実績	
マネジメントコース	110	106	85	2023年7月	4.5%
アテンダントコース	62	68	41	2024年7月	6.4%
スペシャリストコース	4	5	4	2025年7月	5.7%
合計	176	179	130	2026年7月	6.1%

ソリューション営業人材の育成

- ・ ソリューション営業人材の営業スキルを3段階で可視化。
- ・ 2033年3月末までにプレミアム人材 **100** 名を目指す。



- 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
- 本資料に記述された事項の全部または一部は、予告なく修正または変更されることがあります。
- 本資料には将来の業績にかかる記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等に伴い異なる可能性があることにご留意ください。
- なお、本資料の全部または一部を当行の承諾なしに転写・複製し、または第三者に伝達することはできませんのでご注意ください。



紀陽銀行公式キャラクター
キヨー坊や®

本件に関するお問い合わせ

株式会社紀陽銀行 経営企画部 IR推進室

TEL 073-426-7133

E-mail ir@kiyobank.co.jp

HP <https://www.kiyobank.co.jp>